

# 琉球大学学術リポジトリ

越境する沖縄関係資料：資料収集・公開・共有を目指し過去から未来へ

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2012-05-23 キーワード (Ja): 沖縄資料, 資料収集 キーワード (En): 作成者: バゼル山本, 登紀子 (ハワイ大学マノア校図書館日本研究専門司書) , 野口幸生 (コロンビア大学C.V. スター東亜図書館日本研究専門司書) , 古謝, 久美子, 富田, 千夏, Bazzell Yamamoto, Tokiko, Noguchi, Sachie, Koja, Kumiko, Tomita, Chinatsu メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/24454">http://hdl.handle.net/20.500.12000/24454</a>

復帰40年沖縄国際シンポジウム  
これまでの沖縄学 これからの沖縄学

第3日目 第1セッション  
平成24年3月31日(土) 第三会議室

# 沖縄関係資料の情報 共有に向けた取り組み

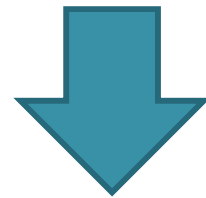
琉球大学附属図書館情報サービス課  
情報サービス企画係  
古謝 久美子(KOJA, Kumiko)  
富田 千夏(TOMITA, Chinatsu)

# 目次

- **前近代琉球史料をめぐる戦前戦後の状況と琉球大学附属図書館による沖縄資料収集に関する取組み**
- **日本の大学図書館の状況と、沖縄資料公開に関する琉球大学の取組み**

# 近代以降の沖縄における、前近代琉球資料を取り巻く状況

- 首里王府に保管されていた文書群  
評定所文書、外交文書等・・・



- 琉球処分（廃藩置県）の後に分割保管

# 主な移管先とその後

- **明治政府**：関東大震災で焼失。一部が残存。
- **尚家（中城御殿）**：一部が東京へ。大半が沖縄戦にて焼失。
- **沖縄県庁**：沖縄戦にて焼失
- **沖縄県立沖縄図書館**：沖縄戦にて焼失

# 『歴代宝案』について

- 外交文書集であり、永楽22(1424)年～同治6(1867)年までの文書を収録。
- 本来は二部あり、一部は王府、一部は久米村の天妃宮に保存されていた。
- 王府保管本：明治以降、不明。
- 久米村の天妃宮所蔵本：昭和8年に公開。後に沖縄県立沖縄図書館へ移管。原抄本は沖縄戦により焼失。
- 筆写本・影印本のみが現存。

# 琉球大学附属図書館による 沖縄資料収集に関する取り組み

- 沖縄研究のための資料センター機能としての役割。
- 教員との連携により収集。
- 昭和52年度から平成12年度まで文部科学省の特別配分事業経費により収集。
- 大学創設以来収集した沖縄関係資料は約5万点。内、古文献資料は現在約2300点。

# 主なコレクション

- 伊波普猷文庫
- 仲原善忠文庫
- 島袋源七文庫
- 宮良殿内文庫
- 仲宗根政善文庫
- 矢内原忠雄文庫 等

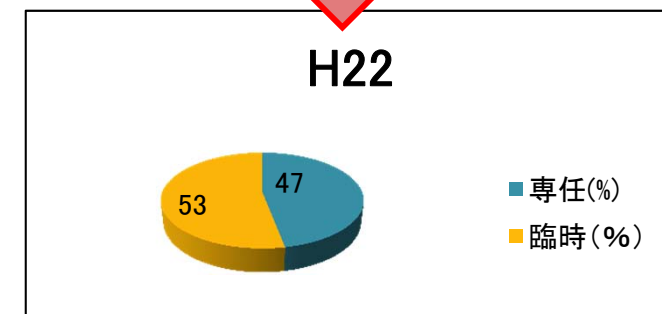
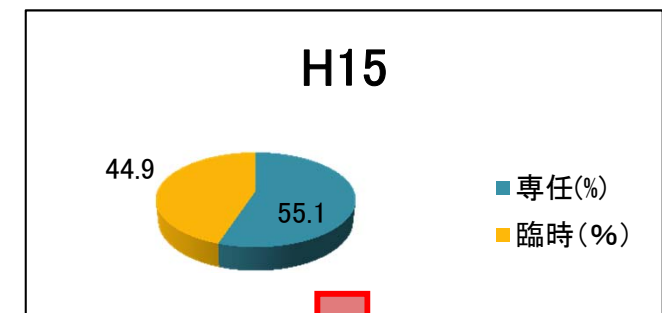
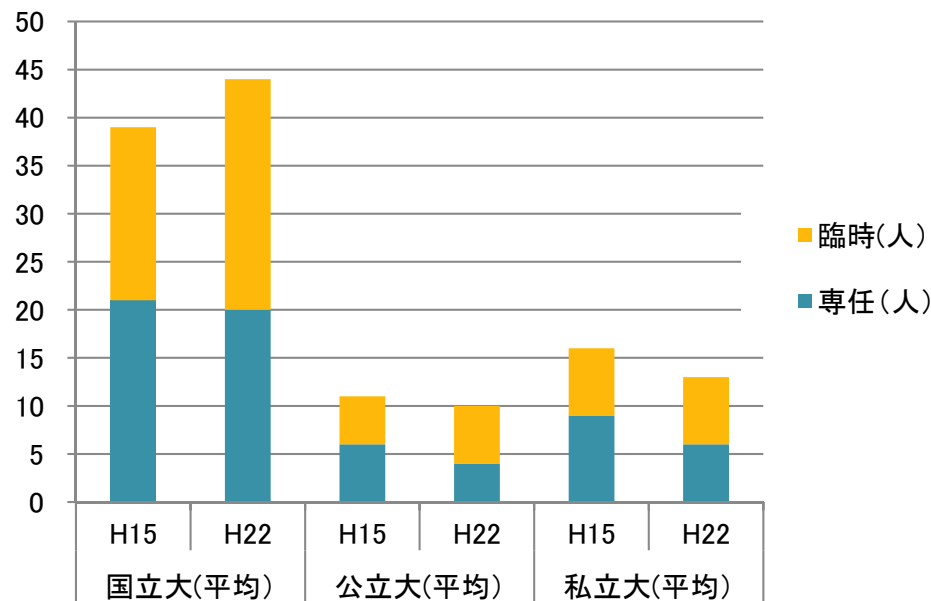


# 日本の大学図書館の現状

## ● 職員数の変化（専任職員の減少）

大学種別	年度	専任(人)	臨時(人)	合計	専任(%)	臨時(%)
国立大(平均)	H15	21	18	39	54.4	45.6
	H22	20	24	44	45.6	54.4
公立大(平均)	H15	6	5	11	57.2	42.8
	H22	4	6	10	40.9	59.1
私立大(平均)	H15	9	7	16	55.2	44.8
	H22	6	7	13	48.4	51.6

(文部科学省 学術情報基盤実態調査(旧「大学図書館実態調査」)より)



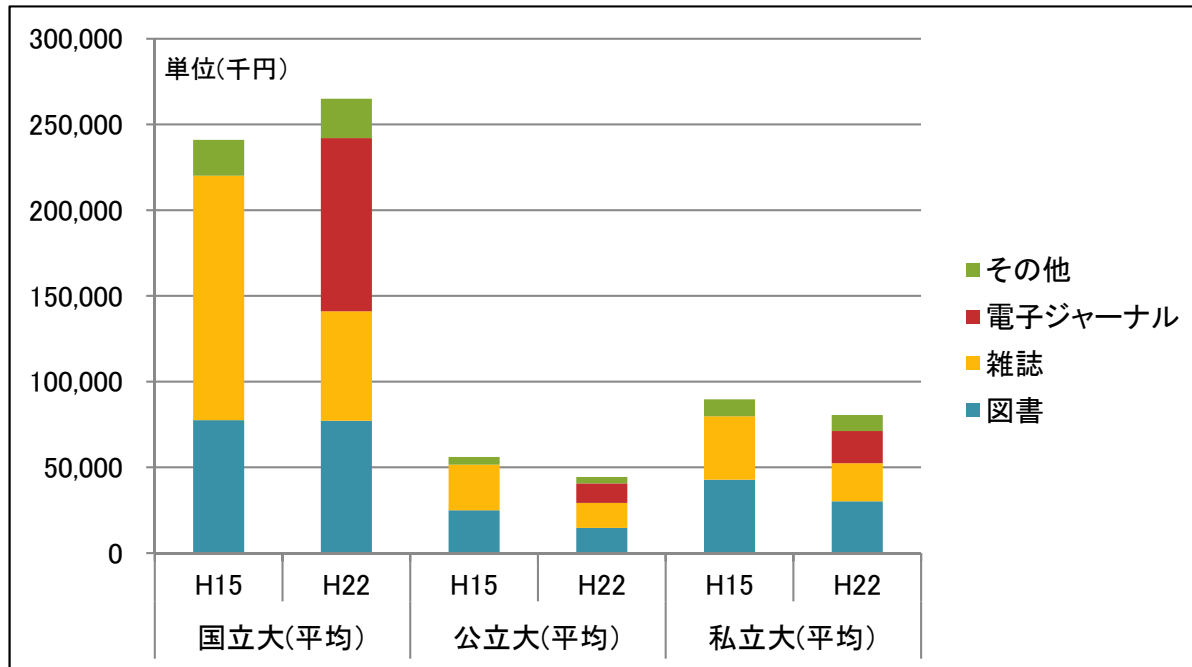
# ● 予算の変化（資料費の減少）

単位(千円)

大学種別	年度	図書	雑誌	電子ジャーナル	その他	合計
国立大(平均)	H15	77,552	142,489	—	20,983	241,024
	H22	77,158	63,888	100,990	22,998	265,034
公立大(平均)	H15	24,914	26,628	—	4,512	56,054
	H22	14,662	14,598	11,354	3,777	44,391
私立大(平均)	H15	42,790	36,990	—	9,849	89,629
	H22	30,192	22,184	18,810	9,299	80,485

※平成15年度の調査では電子ジャーナル経費は雑誌に含まれていると推察される。

(文部科学省 学術情報基盤実態調査(旧「大学図書館実態調査」)より)



# 琉球大学附属図書への取り組み

## ◆貴重資料デジタルアーカイブ

(Okinawa Rare Collection Digital Archives)

URL: <http://manwe.lib.u-ryukyu.ac.jp/d-archive/>



平成22年4月より正式に事業を開始。  
(平成22年度概算要求による事業)

- 翻刻作業・解題作成  
(非常勤雇用・外部委託)
- 現代語訳の実施  
(館内ワーキング・外部委託)
- 英訳の作成(非常勤雇用)
- 新デジタルアーカイブシステムの構築・公開

## 平成23-24年度の体制

- 翻刻・解題・現代語訳・英訳作成(非常勤雇用 ※時限付き)
- 優先順位をつけて事業を推進。  
(平成23年度宮良殿内文庫の翻刻作業終了)

# ◆沖縄文献情報データベース(略称 BIDOM) (Bibliographic Information Database of Okinawan)

URL: [we.lib.u-ryukyu.ac.jp/bidoms/](http://we.lib.u-ryukyu.ac.jp/bidoms/)



平成22年度より事業開始。(学内予算による事業)

- CiNii等の既存データベースに未収録となっている文献情報を中心に収録。
- 平成23年4月システム公開。
- 沖縄資料所蔵調査の重要なツールとして期待される。

## 平成23-24年度の体制

- 平成23年度科学研究費補助金受託。(学内教員と協働による)
- 目録データ作成作業の推進。(非常勤職員・派遣職員雇用 約5.6万件)
- 教員の協力の下、平成23年度は海外文献についても約1300件登録。
- ハワイ大学図書館へ、海外文献情報の確認作業を依頼。
- 平成24年度以降の入力経費の獲得のため科学研究費補助金申請中。

その他:今後5年で約20万件の登録を予定。

# ◆ 沖縄情報統合検索システム (略称:iXio)

(Integrated Cross-search for Information of Okinawa)

URL: <http://manwe.lib.u-ryukyu.ac.jp/ixio/>



平成23年度実施事業。(学内中期計画達成プロジェクト経費による)

- 学内外の機関が構築している沖縄に関するデータベースを横断的に検索するシステム。
- 教員との共同申請による事業。
- システム構築・公開。(平成24年3月)

## システム構築に関する問題点

- 学外データベースを横断検索するため各データベース管理機関への許諾確認作業。(平成24年3月末時点で3件が未回答)
- 横断検索に対応できるプロトコルを持たないデータベースの対応。

# ◆沖縄地域学リポジトリ(略称:ORION)

(Okinawa Repository Integrated Open-access Network)

URL: <http://okinawa-repo.lib.u-ryukyu.ac.jp/>



- 平成21年2月試験公開。
- 平成22年3月正式公開。
- 沖縄県内の学術機関・団体、県外の沖縄研究を行う機関等が参加。
- 学術成果物(論文等)の本文データをWebで公開。
- 平成24年3月末現在10機関参加。(うち2機関はデータハーベスト)

## 平成23-24年度の体制

- 平成23年度国立情報学研究所のCSI事業による受託金により、県内3大学(沖縄大学、沖縄県立看護大学、名桜大学)のデータを収録。
- 平成24年度、同事業に継続申請中。沖縄キリスト教学院大学が平成24年度参加予定。
- 平成24年3月末現在、約3,300件が公開済み。

# 今後の展望

## 1. 各事業の継続に向けて(体制整備・予算獲得)

### ■デジタルアーカイブ事業

古文書である特性上、アクセス数の大幅増加は見込めない。

デジタルアーカイブを活用した事業(例:講演会、シンポジウム)等の開催

→ 認知度を上げる。事業の必要性、成果を示す。

### ■文献データベース入力事業

継続的な入力事業を行える体制の構築。

図書館の目録作成機能の活用

→ 沖縄学の中核となる大学の図書館の業務として取り込める

### ■リポジトリ事業

機関リポジトリは、学術機関の情報公開ツールとしての認識が高い。

学術団体等については、今後、幅広い支援が必要。

## 2. 琉球大学附属図書館のこれからの取り組み

- 資料収集に関する連携

例：沖縄県の資料保存機関連絡協議会へ参加

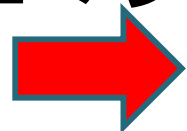
- 沖縄関係資料の情報共有

Web等のツールを活用した文献情報、所在情報の共有化。多言語化。

- 沖縄関係研究における研究基盤の構築

国際沖縄研究所及び国内外の関係機関との連携による研究基盤の構築

取り組み実現のために



教員と資料保存機関の連携



# ご静聴ありがとうございました

継続的な沖縄資料の保存、情報の共有化に向けて、皆様のご協力をお願いします。

本件に関する連絡先  
琉球大学附属図書館  
情報サービス課情報サービス企画係  
沖縄資料担当

E-mail: [okinawa@lib.u-ryukyu.ac.jp](mailto:okinawa@lib.u-ryukyu.ac.jp)

リポジトリに関する問い合わせ

E-mail: [ir-jimu@lib.u-ryukyu.ac.jp](mailto:ir-jimu@lib.u-ryukyu.ac.jp)